

CLT パネル工法の製図に用いる CLT の表示記号（案）

2024 年 4 月発行

一般社団法人 日本 CLT 協会 設計WG

1. CLT の表示記号の提案について

建築工事設計図書作成基準（令和 2 年最終改訂 国土交通省大臣官房官庁営繕課発行）では、様々な材料構造表示記号が示されています。ただし、表示事項の木材の欄に CLT の記号は示されていません。そこで当協会では、CLT の表示記号（案）を作成しました。

当協会で提案した表示記号が、設計施工の現場で広く採用され、提案した表示記号が CLT を示すものであると誰もが認識するようになり、CLT を示す表示記号として標準化され業務がより円滑に行われるようになることを期待して、表示記号（案）の公開を行うことにしました。

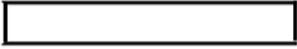
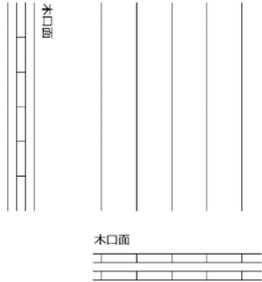
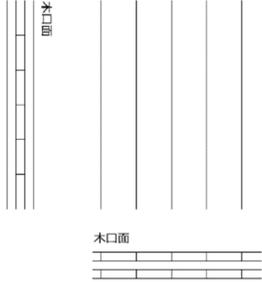
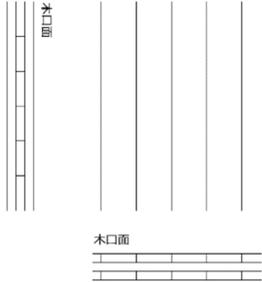
2. 表示記号の採用について

- (1) 作成している表示記号は、当協会が（案）として示しています。使用するかどうかは設計者の判断によります。
- (2) 表示記号（案）は縮尺ごとに定めていますが、参考として示している縮尺なので、縮尺に対する表示は設計者の判断によります。
- (3) 表示記号（案）は色彩を用いて示すことを対象にしていますが、内容をわかりやすくするために色彩を用いて製図することは設計者の判断によります。
- (4) CLT パネル工法ではパネル相互の接合に金物などが用いられますが、金物などの表示については設計者が定めることとなります。
- (5) CLT パネルの外層ラミナ方向の表示については、設計者の判断で行うこととなります。

3. 参考図としての表示記号（案）を用いた設計例について

- (1) 設計例は、CLT パネル工法による 2 階建ての住宅としています。
- (2) 意匠図、構造図、詳細図に「4. CLT 表示記号（案）」を適用して製図されています。
- (3) 設計例は参考として作成しているので実際の製図においては、設計者が製図方法と記載すべき内容を定めて製図をして下さい。作図方法、内容については、設計例に倣う必要はありません。

4. CLT 表示記号 (案)

表示事項	表示記号	
	縮尺 1/50~1/200 程度の場合	縮尺 1/10~1/30 の場合
CLT パネルの 壁パネルなど		
CLT パネルの 耐力壁以外の パネルなど		
床パネルなど	 <p>※最外層ラミナ方向を → で示す。</p>	
合板スプライン		